



お薬あまっていますか？

普段の診察のなかで処方されたお薬、余っていませんか？

いつもどおりに処方されたけど・・・
自宅に薬が余っているんだけど・・・
なかなか言い出せなくて・・・

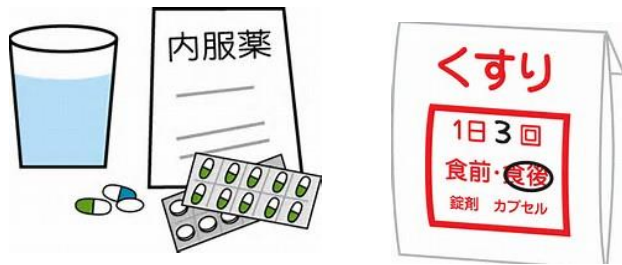
という方は、遠慮なく診察中にお話してください。

もし、診察中に言いたせなくても、看護師や薬局にお話しただけであれば、残った薬を調整して処方し直せます。

現在、厚生労働省でも、残薬調整を勧めています。この作業により、薬を捨てることなく有効に利用することができ、患者さんご自身の窓口でのお支払いも安くなり、医療費の節約にもなります。

また、医師の立場からは、処方したお薬を患者さんがしっかり飲んでいるかを確認することで、その後の診察での判断につなげていくことができます。正確に何という薬が何日分余っているかを知るために、残っている薬をお持ちいただくと助かります。

ぜひ、ご自宅に余っているお薬をお持ちください。

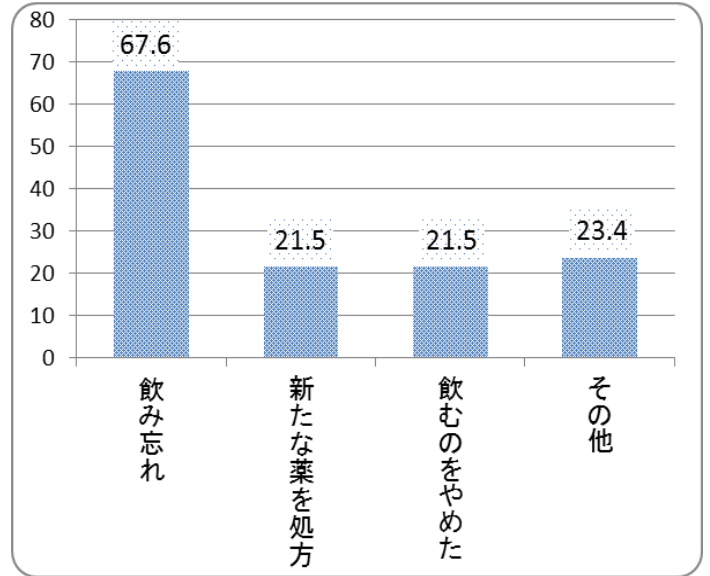


※ 初めて出すお薬の場合は、体に合わないことがありますので、処方期間が短くなります。

また、とんぷく薬の場合は10回分までという決まりがあります。

あらかじめ、ご了承ください。

薬があまった理由（複数回答あり）



〔出典〕平成25年度厚生労働省「薬局の機能に係る実態調査」

外来からのお知らせ

9月の休診

- 総合診療科：9月 1日（金）井上Dr.
- 総合診療科：9月12日（火）田中Dr.
- 婦人科：9月12日（火）小笠原Dr.
- 耳鼻咽喉科：9月14日（木）水足Dr.
- 総合診療科：9月14日（木）黒沢Dr.
- 総合診療科：9月20日（水）内田Dr.
- 総合診療科：9月29日（金）山下Dr.

※総合診療科、整形外科は複数の医師で担当しておりますので、当日の担当医が診察を行います。



職員募集のお知らせ

- ① 職 種：看護師（正職員） 若干名
受験資格：有資格者
募集期間：随 時
提出書類：履歴書・看護師免許の写し
試験方法：作文・面接（随時実施）
- ② 職 種：介護職員（臨時職員） 若干名
受験資格：介護職員初任者研修終了者
募集期間：随 時
提出書類：履歴書・修了証の写し
試験方法：面接（随時実施）
- ③ 職 種：健診事務職員（臨時職員） 1名
募集期間：9月1日（金）から9月22日（金）
提出書類：履歴書
試験方法：面接
試験予定日：9月29日（金）
採用予定日：平成29年11月1日（水）

⑥ のぶえさんとあやこさん（その2） 「みんないつかは・・・!？」

今年の夏は、本当に雨の多い夏でした。暑かったら暑いで大変ですが、雨が多くじめじめしているのも過ごしにくいものですね。どうぞ皆様、体調など崩さないようお気をつけ下さい。

さて、今回ものぶえさんとあやこさん親子の話です。その日はお二人が診察室に入ってくるなり、あやこさんから「また母と喧嘩した。泣かせてしまったわー。母も二言目には、『こんなことなら死んだほうがまし』と言うから、心配せんでも死ねると言っちゃうのよ」と。当ののぶえさんも「先生、ほんとに死んだほうがましです」とくる。そこで私も「そうやね、みんないつか死にますからね。のぶえさんも死ぬし私も死ぬ。どっちが早く逝くかの違いだけでしょね」と聴診器を片手に会話に参加します。そんな会話をしながら聴診する意味ってあるのかなあ・・・と思いながら、まあいいかと開き直って会話を楽しんでいる自分がいました。

以前、私は診察中の会話で命について触れることはほとんどありませんでした。冗談でも医者が「天国に行く」だとか言う話をしてはいけない、まして「死」なんて言葉はタブーだと思っていました。そりゃ今でも状況によって使い分けているつもりです。でも時には、やれ天国だ、死ぬだなんて話をすることで、『患者－医師』というなんだかお堅い間柄を一步超えた、ちょっと本音で話せる関係になれた気がすることもあります。だってみんな死ぬんですから。

興味深いデータがあります。

ご主人に先立たれた女性は長生きをする。

一方で奥さんに先立たれた男性は、あとを追うかのように短命である、というのです。



また、認知症になった男性は最後まで奥様のことをわかる方が多いらしいのですが、女性が認知症になった場合、ご主人のことは早めに忘れてしまう傾向にあるようです。男性としてはなんだか複雑な気分ですが、女性からすると納得される方も多いのではないのでしょうか。のぶえさんもご主人に他界されてから35年以上も一人で生活されています。前述した例に違わずなんと長生きですね。伴侶に先立たれたあと、天国にいる連れ合いの話を、笑いながらできるようになれば、グリーフ（悲嘆の時期）はある意味で終わっています。逆に、まだそのような話ができないときは悲しみの真っ最中であり、そんな時は気を遣います。

男性の場合は、感情をうまくコントロールできずに、悶々とため込んでしまう方が多い気がします。

以前出あった言葉、のぶえさんとあやこさんにぴったりの一文を紹介します。

笑えるのは、楽しんでいる証拠

怒るのは、真剣だった証拠

喧嘩するのは、一緒だった証拠

つまづくのは、進んでいる証拠・・・

のぶえさんとあやこさん親子、天国に行っても喧嘩するのでしょうか。その時は私もその会話に参加してみたいものです。そもそも、天国で「死んだほうがまし」なんて会話は成り立つのかな？ おっと、2人を勝手に殺してしまった。私も死んだことになっている・・・。もう少し、この世でお二人の会話を楽しみたいと思った、ある診察の一コマでした。



総合診療科 医師 内田 望

☆ 年に一度は「人間ドック」を受けましょう ☆

お問い合わせ：総合健診センター（病院内）

直通電話：72-7510



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話（代表）0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。